

年次報告  
2009

特定非營利活動法人  
SEEDS ASIA



## SEEDS Asia

---

SEEDS Asiaはアジア太平洋地域において、環境問題の改善や防災ならびに災害救援に関する事業を行い、これらの事業を通して、社会全体の持続可能な発展や人間の安全保障の確保に寄与することを目的としています。

SEEDS Asia は2006年9月より特定非営利活動法人として活動しています。

### キーワード

人間の安全保障

防災と開発

環境管理

アジア太平洋地域

### 目的

環境問題や災害に強いアジアにおける安全で持続可能なコミュニティづくり



### 組織の特徴

- 防災、環境、開発分野の若い専門家集団です。国籍もさまざまです。
- 学際的なアプローチで防災や環境問題にとりこんでいます。
- アツイところとクールなあたまで活動しています。
- アジア太平洋地域に特化した活動をしています。
- 神戸を拠点にしていますが、多文化な環境で仕事に取り組んでいます。
- 現地の社会経済状況、文化、政治的背景に配慮することを心がけています。
- 地元の知恵や知識・ノウハウを最大限利用し、地域にあった解決策を模索します。
- 現地カウンターパートと強い人間的ネットワークと相互信頼を築きます。
- 問題の発見とその解決策は当事者である地元の人々主導でおこないます。
- 研究、教育、プロジェクト実施が相乗効果的につながることをめざしています。
- 持続的で革新的なアプローチを取り入れています。

### 活動分野

- コミュニティベースの災害リスク管理
- 防災と環境教育
- コミュニティベースの気候変動への適応
- 都市のリスク問題: 環境管理や防災 (廃棄物管理、水資源管理)
- 人間の安全保障と持続可能な開発
- 貧困削減と防災
- 災害と環境管理に関する研究と政策対話



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 人材育成プロジェクト

#### 学校教員の防災教育実施訓練事業(終了) ((特活) ジャパン・プラットフォーム助成)

災害: 2006年ジャワ島中部地震

場所: インドネシア共和国ジョグジャカルタ特別州バントウール県サンデン郡

2006年5月27日のジャワ島中部地震の被災以来、インドネシア・ジョグジャカルタ特別州では復興段階の初期に国内外の多くの支援団体が緊急支援を経て、災害の起きやすい地域で子ども達の命を守るために学校防災教育の普及に焦点を当てた支援活動を行ってきました。

SEEDS Asiaが行った聞き取り調査によると(2008年10月実施)、現地の教育関係者に配布された防災訓練教材の内容が教員の間で共有、活用されておらず、結果として教材の内容などが子供たちに対する防災教育実践に反映されていないことが、防災教育の普及を妨げている一因であると考えられました。

この問題を解消するため、以下の3つの活動を企画、教育現場のスタッフが無防備な子供たちを守る、そんな防災教育の普及に取り組みました。

1. 教育現場での学校教員に対する防災教育実施訓練
2. 学校教員のための学校防災教育手引書の作成
3. 学校防災教育に対する意識向上のためのワークショップ

対象小学校3校で、合計43名の教員に対し防災教育実施訓練が行われました。最終ワークショップは2009年9月に実施され、市の教育局や対象小学校以外の教員たちが招待され参加しました。対象小学校の教員たちの防災教育に対する姿勢は劇的に変化し、防災教育をカリキュラムの一つとして今後取り入れると決めた学校や、今回の事業でトレーニングを受けた講師が他の学校の教師に防災教育授業の実施方法を教えたりする動きもでており、今後も現地主導の持続的な活動が期待できます。



DRR ハンドブック



教員によるモデル授業の実施



最終ワークショップの様子



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 人材育成プロジェクト

**ミャンマー・サイクロン・ナルギス被災地 防災事業(実施中)(チャーチ・ワールド・サービス助成)**  
**災害: 2008年サイクロン・ナルギス**  
**場所: ヤンゴン、エヤワディ管区、ミャンマー**

ミャンマーではサイクロン、地震、津波、高波のリスクが大変高くなっています。サイクロン・ナルギスがミャンマーを襲ったとき、地元のコミュニティでは学校、コミュニティなど公共の建物を含む財産や多くの命が失われました。コミュニティ住民の間での災害リスクに関する意識の向上や、災害への対処、予防方法について地元の人々が知っていたならば、多くの被害が食い止められたかもしれません。

#### 学校防災事業

災害時に地域の学校における安全を確保するという目的のもと、現地カウンターパートのミンガラル・ミャンマーおよびメッタ開発機構と共に学校における災害リスク軽減(Disaster Risk Reduction)プログラムがエヤワディ管区のダツラ、ラブッタ県で実施されました。このプロジェクトでは、被災した地域の学校における防災教育へのニーズ調査のもと、コミュニティの住民、対象小学校の教員や生徒たちの間でのディスカッションやワークショップを通して街の安全点検を行うとともに、災害時のリスクを軽減するため現地小学校で要望の強かった小学校施設、通学路の修繕、改善を行いました。



通学路(舗装前)



通学路(舗装後)

#### 移動式防災教室(Mobile Knowledge Resource Center: MKRC)



移動式防災教室

サイクロン・ナルギスで最も被災したより広範な地域にDRRに関する知識を普及させるために、移動式防災教室(MKRC)が開発され、MKRCを用いたDRR訓練がヤンゴンおよびエヤワディ管区で実施されました。移動式防災教室とは、改造したトラックに、サイクロンなど自然災害の発生メカニズムなどがわかるポスターやモデル、ビデオ等を積み込んで、被災地各地を回り防災教育を実施するものです。被災地の28村を訪問し合計2778名のコミュニティ住民、教員、生徒や地元の大工に防災訓練ワークショップを実施しました。デルタ地域を対象にして、船に防災教材を搭載した水上移動式防災教室を2010年5月から実施する予定です。



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 人材育成プロジェクト

#### ミャンマー 学校防災教育事業(ジャパン・プラットフォーム助成事業)(実施中)

災害:2008年サイクロン・ナルギス

場所:デダエ県、エヤワディ管区、ミャンマー

ミャンマーはアジアにおいて最も災害の起こりやすい国の一つです。しかし、住民の間の災害リスク軽減(DRR)についての情報が限られているため、人々の災害に関する知識は大変限られたものになっています。こうした現状は2008年にサイクロン・ナルギスがミャンマーを襲った後も変化していません。

プロジェクトの目的としては、エヤワディ管区のデダエ県におけるコミュニティの防災能力を向上させるために、現地NGOスタッフ、教員、現地カウンターパート(ミンガラル・ミャンマー)などにDRR訓練を実施することでした。これらの目的を達成するためにSEEDS Asia は(1)対象校2校において学校安全プログラムのための行動計画作成(2)現地カウンターパート、教員や現地のNGOスタッフに対して、災害リスクを軽減させるDRR訓練の実施(3)学校の安全と災害リスク軽減のための訓練モジュールの開発と発表などを実施しました。

プロジェクト対象サイトを訪問しカウンターパートと事業の内容について話し合いを行ったところ、対象小学校2校で飲料水の不足や、学校フェンス、図書室、保健室など設備不足の著しさが目立っていました。SEEDS Asia とカウンターパートのメンバーはデダエ県の2つの小学校を訪れ、DRRについてのワークショップを実施し、DRRの基本的な考え方について説明し、参加した教員、PTAのメンバー、コミュニティメンバーなどの間でディスカッションが行われました。

2010年1月には学校の災害リスク軽減と安全のための「訓練者のための実習(TOT)」が実施され2つの対象地域で約50名が参加しました。ワークショップを通して、村の安全点検、非常持ち出し袋作り、災害記事の朗読、応急処置トレーニングや防災エッセイづくりが実施されました。2010年2月には避難訓練、防災新聞づくりや防災歌の作成が実施されました。



フォーカス・グループ・ディスカッションの様子



応急処置トレーニング



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 人材育成プロジェクト

#### 学校を中心にしたコミュニティを基盤とする災害リスク管理プログラム(実施中)

災害: 2009年スマトラ沖地震

場所: インドネシア共和国西スマトラ州、パダン、パダンパリアマン県

インドネシア共和国スマトラ州パダン、その周辺地域は2009年のスマトラ沖地震によって深刻な被害を受けました。JICAインドネシア共和国西スマトラ州パダン沖地震被災地復興支援(学校再建プロジェクト)の一環としてSEEDS Asiaは「学校を中心にしたコミュニティを基盤とする災害リスク管理プログラム」を現地カウンターパートのYEUおよびOYOインターナショナル株式会社、SNS国際防災支援センターと共同で実施しています。

2010年2月には、パダン市及びパダン・パリアマン地区の11の対象小学校で事業を実施するための情報収集およびニーズ調査を行いました。調査より、現地の教員たちが学校防災プログラムへ強い興味をもち特にトラウマ・ケアに関するプログラムや、災害リスク軽減という考え方を授業カリキュラムに取り入れることに強い関心を持っていることが分かりました。2010年3月より、安全マップづくり、街歩きなどの防災教育プログラムを実施していきます。



地震で倒壊したままの校舎



仮設校舎で学ぶ生徒たち



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 人材育成プロジェクト

#### ベトナム中部の学校を中心としたコミュニティ防災力の向上支援事業 (実施中)

場所: ベトナム中部ダナン市ハイチャウ郡

2010年3月10日より、JICA草の根パートナーシップ事業「ベトナム中部の学校を中心としたコミュニティ防災力の向上支援」が現地カウンターパートのダナン工科大学(Danang University of Technology:DUT)と共に開始されDUTにSEEDS Asia の新しい事務所が設置されました。ベトナム中部では毎年のように台風や洪水の被害に直面しており、また近年の気候変動の影響などから風水害のリスクが高まっていますが、コミュニティレベルでの災害リスク軽減には十分に手が届いていないのが現状です。

SEEDS AsiaのスタッフとDUTのメンバーがダナン市教育局を訪問したのち、3月にハイチャウ郡のポー・ティ・サウ(Vo Thi Sau)小学校でニーズ調査が実施されました。調査から、すべての教員が学校防災教育(School Disaster Education:SDE)に興味を持ち、特に学校の安全点検(学校における危険な場所を見つける)、災害マネジメントゲーム、避難訓練、街歩き(コミュニティにおける危険な場所を見つける)に興味を持っていることが分かりました。その上、多くの教員達は通常の学習カリキュラムと校外学習カリキュラムで学校防災教育を行うことに強い関心を持っていました。教員たちの興味を基盤にSEEDS Asiaは2010年度において学校防災教育プログラムを実施していきます。

また、調査より生徒達は通常の授業で自然災害メカニズムについて講義を受けたことはあるものの、彼らの知識レベルは不十分であることが分かり、学校防災教育(SDE)の重要性が再度認識されました。当事業はダナン市教育局からの強いサポートを受け、2011年3月にかけて防災訓練プログラムが実施されます。



質問票に回答する教員たち



### 2009年の主な活動 人材育成プロジェクト

#### コミュニティー・ベースの災害リスク管理 (CoARとの共同助成事業) (終了)

場所: アフガニスタン国 Faryab省、Badghis省



当事業は、アフガニスタンのFaryab省とBadghis省において、災害に対する脆弱性を軽減することを目的とし、2008年から継続して行われています。当事業では、引き続き、河川流域管理に関する地元民の意識向上と、村長や村の学校教員、女性グループ等への防災訓練を実施しました。

#### 沿岸コミュニティの災害リスク軽減のための人材育成事業 – プロジェクト SELAMAT (国連国際防災戦略助成事業) (終了)

場所: モルディブ共和国



2007年11月から実施されてきたモルディブでの災害リスク軽減のための人材育成SELAMATプロジェクトは、シャビヤニ環礁の5島を対象に、環礁レベルの防災計画、災害リスク軽減のためのモデル事業として、沿岸侵食を防止するためのバイオシールドプロジェクト、自宅の庭を利用したキッチンホームガーデン促進プロジェクト、島での深刻なゴミ問題に対処するための廃棄物管理プロジェクトを実施し、現地の人々の防災への意識が高められました。事業は5月で終了しました。

#### 防災メディア番組作成のための人材育成トレーニング (国連国際防災戦略助成事業) (終了)

場所: モルディブ共和国



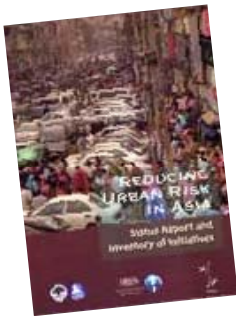
モルディブでは2004年インド洋津波の被害により大きな被害を受けましたが、現地の人々の災害リスクに関する意識は低いのが現状です。この原因として過去に自然災害がそれほど起きてこなかったことがあります。2008年7月から実施されてきたモルディブのトレーニングでは、2009年3月に、モルディブ共和国首都マーレにて、ワークショップの中で最終的に国営テレビ局、ラジオ局で実際に防災プログラムを作成、放送し、広く一般の人々の防災意識向上を目指した番組内容となりました。メディア防災トレーニングは、5月で一旦事業が終了しました。



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 調査研究事業

#### 都市部での災害リスク軽減に関する研究 (UNISDR-RTF-URR)



SEEDS Asiaは国連国際防災戦略UNISDRにおける都市リスク軽減のための地域タスクフォース(RTF-URR)の調査・研究に協力しました。当調査ではアジア地域における都市リスクの傾向を調査し、都市リスクへの対処法を研究するものです。調査の中で現在と過去のプロジェクト内容が要約され分析されました。分析結果は、京都大学とUNISDRから、「アジアにおける都市リスクの軽減」というタイトルで出版され、アジア地域における都市リスクマネジメントの方向性が示されました。

詳細については以下のウェブサイトをご参照ください：  
[http://www.iedm.ges.kyoto-u.jp/publi\\_e.htm](http://www.iedm.ges.kyoto-u.jp/publi_e.htm)

### 2009年の主な活動 知識の普及事業

#### エフエムわいわいでのラジオ収録

SEEDS Asiaが、エフエムわいわいのラジオ番組「恋する！NPO Vol.2」で収録を行いました。当ラジオ番組は様々なNPO職員や関係者をゲストにお話を伺うというプログラムです。SEEDS Asiaは団体紹介とモルディブおよびインドネシアのプロジェクトについて話をしました。収録された内容は、5月16日(土)の16:30-17:00に放送されました。

#### 舞子高校にて活動報告



2008年、サイクロン・ナルギスがミャンマーを襲ったことを受け、舞子高校の学生たちが神戸で街頭募金を行い、全額をSEEDS Asia のミャンマー事業に寄付してくれました。2009年6月16日、舞子高校の生徒を対象にミャンマー事業の紹介を行いました。報告ではSEEDS の団体紹介のほか、現地におけるサイクロン・ナルギスの被害について説明しました。生徒たちは、ナルギスによる被災状況に加え、ミャンマーの人々の生活などについて熱心に質問していました。



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 知識の普及事業

#### 防災に関するグローバル・プラットフォーム(GP/DRR) 参加



2009年6月16日から19日にかけて防災に関するグローバル・プラットフォーム(GP/DRR)の第2回大会がジュネーブで開催され、2005年に策定された兵庫行動枠組み(HFA)をあらゆるレベルで実施するための行動と公約を増進することが確認されました。SEEDS Asia は議会で議論に参加しました。

#### UNDP神戸新聞社共催シンポジウム「気候変動の危機に挑む」パネリスト参加

国連開発計画(UNDP)、神戸新聞社共催のシンポジウム「気候変動の危機に挑む」が2009年6月20日に開催されSEEDS Asiaがパネリストとして参加しました。気候変動による海面上昇の危機に直面するモルディブとSEEDS Asiaの事業を紹介し、「環境を守ること＝防災」の考え方を提示しました。

#### バングラデシュにおける竜巻災害リスク軽減のための国際フォーラム準備ミッション参加

バングラデシュにおける竜巻等の突風災害による被害が、最も深刻であることはあまり知られていません。このことを鑑み、12月にダッカ市で開催予定の竜巻に関する国際フォーラムに向け、8月にフォーラムの準備ミッションが行われました。SEEDS Asiaのシニア・アドバイザーがミッションに参加し、現地で竜巻被害に見舞われた村を訪問し、被害状況の聞き取りなどを行いました。

#### アジア・オセアニア地球科学会第6回年次会合に参加

アジア・オセアニア地域における地球物理学の推進及び、地域内の人々への貢献をめざして結成された学会の第6回年次会合がシンガポールで開催されました。そこで、SEEDS Asiaのシニア・アドバイザーが出席し、「アジアにおける災害に強い都市づくりに向けた地域イニシアティブ」と題して発表し、アジア地域都市リスク軽減のためのタスクフォース(RTF-URR)を紹介しました。



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 知識の普及事業

#### シティネット会議2009に参加



2009年9月7日から11日にかけて「シティネット会議—未来に奏でるハーモニー」が横浜市長とシティネット会長の主催で行われ、SEEDS Asiaのシニア・アドバイザーが出席し、これまでにシティネットで実施されたプロジェクトや今後の活動について議論が行われました。会議では、国連防災戦略のキャンペーンである「災害につよい都市の構築2010-2011」が提示されました。

#### 竜巻災害のリスクに関する国際フォーラムに参加



2009年12月13日から14日にかけてバングラデシュで開かれた国際フォーラム「バングラデシュにおける竜巻災害のリスク軽減：忘れられた災害への対処」にSEEDS Asiaが参加し、早期警告システムの設置、災害に対する公的な意識や教育を高めることなど災害リスク軽減のための戦略が決定されました。

#### 国際復興協力ワークショップでの発表

2009年12月17日神戸で開催された、アジア防災センター、JICA兵庫、兵庫国際復興支援プラットフォーム主催のワークショップに参加し、SEEDS Asiaがインドネシア、ジョグジャカルタで実施した事業について発表しました。そこで、事業を円滑に進めるうえでは、事業実施のタイミングや役所のサポートを得ることなど、プロジェクトからの多くの学びを共有することができました。



## SEEDS Asia

### 2009年の主な活動 知識の普及事業

#### 「都市災害リスク軽減のためのアジア地域特別委員会」(RTF-URR)会議参加



SEEDS Asiaは2010年1月14日に神戸で開催された「都市災害リスク軽減のためのアジア地域特別委員会」第6回会議に出席し、今後の国際防災戦略(ISDR)世界災害軽減キャンペーンに関するアイデアを話し合いました。SEEDS Asia はミャンマー、インドネシア、ベトナムでの事業について報告しました。

#### ISDR-NGO意見交換会参加



写真提供: ジャパン・プラットフォーム

2010年1月19日、国連事務次長補兼兵庫行動枠組実施の為の事務総長特別代表マルガレータ・ワルストロム氏の訪問に伴い、UN/ISDR(国連:国際防災戦略)と日本のNGOの意見交換会が開催され、SEEDS Asia がインドネシアとミャンマーで行った災害リスク軽減プロジェクトについて報告しました。

#### 防災イベント参加



2010年1月31日JICA兵庫で行われた、特定非営利活動法人プラス・アーツ主催の防災イベント「カエル大キャラバン」に参加、防災プログラムを実施しました。来場者の多くの子どもたちは、熱心にプログラムに参加し、プログラムを通じて、災害に強い家の仕組みや、災害について備えることの大切さを学ぶことができました。



### SEEDS Asia 役員

理事長	ラジブ ショウ	京都大学大学院地球環境学堂 准教授
副理事長	マヌ グプタ	SEEDS India 事務局長
理事	中川裕子 アンシュ シャーマ 吉積 巳貴	SEEDS Asia 事務局長 SEEDS India 事務局長補佐(企画戦略) 京都大学大学院地球環境学堂 助手
監査	永井道子	神戸YMCAスタッフ

### SEEDS Asia 事務局

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本2-11-21-401  
Tel: 078-766-9412  
Fax: 078-766-9413  
Email: [rep@seedsasia.org](mailto:rep@seedsasia.org)  
Website: <http://www.seedsasia.org>